



2020年3月期 第2四半期決算短信〔IFRS〕（連結）

2019年11月7日
上場取引所 東

上場会社名 テルモ株式会社
コード番号 4543 URL <https://www.terumo.co.jp>
代表者 (役職名) 代表取締役社長CEO (氏名) 佐藤 慎次郎
問合せ先責任者 (役職名) 広報室長 (氏名) 大曲 昌夫 TEL 03-6742-8550
四半期報告書提出予定日 2019年11月11日 配当支払開始予定日 2019年12月4日
四半期決算補足説明資料作成の有無：有
四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

(百万円未満切捨て)

1. 2020年3月期第2四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年9月30日）

(1) 連結経営成績（累計） (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益		親会社の所有者に帰属する四半期利益		四半期包括利益合計額	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第2四半期	307,278	7.8	59,150	24.3	58,065	30.4	45,621	32.7	45,711	32.7	20,224	△72.0
2019年3月期第2四半期	284,997	0.1	47,582	△16.8	44,527	△21.6	34,389	△16.4	34,454	△16.3	72,317	36.8

	基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第2四半期	61.44	60.42
2019年3月期第2四半期	47.82	45.45

(参考) 調整後営業利益 2020年3月期第2四半期 67,044百万円 2019年3月期第2四半期 55,296百万円

(注) 当社は2019年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して「基本的1株当たり四半期利益」及び「希薄化後1株当たり四半期利益」を算定しております。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2020年3月期第2四半期	1,148,417	718,788	718,741	62.6
2019年3月期	1,120,790	698,113	698,034	62.3

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	—	27.00	—	27.00	54.00
2020年3月期	—	14.00	—	—	—
2020年3月期（予想）	—	—	—	14.00	28.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

当社は2019年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2019年3月期につきましては、当該株式分割前の配当金を記載しております。なお、2020年3月期の中間配当金及び期末配当金につきましては、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		調整後 営業利益		営業利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益		基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	635,000	5.9	124,000	1.5	109,000	2.2	81,000	1.9	108.55

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

当社が発行した転換社債型新株予約権付社債について、2019年9月30日までに一部権利行使による株式への転換が行われました。連結業績予想の「基本的1株当たり当期利益」については、この影響を考慮して計算しております。

・下期想定レート：1ドル＝108円、1ユーロ＝123円

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
新規 一社 （社名）一、除外 一社 （社名）一

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更：有
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無

(注) 詳細は、[添付資料] 10ページ「2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記（4）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項（会計方針の変更）」をご覧ください。

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期2Q	759,521,040株	2019年3月期	759,521,040株
② 期末自己株式数	2020年3月期2Q	11,088,861株	2019年3月期	16,618,324株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期2Q	744,035,898株	2019年3月期2Q	720,432,083株

(注) 2019年4月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、前連結会計年度の期首に当該株式分割が行われたと仮定して期末発行済株式数（自己株式を含む）及び期末自己株式数並びに期中平均株式数を算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性がございます。業績予想の前提となる仮定及び業績予想のご利用にあたっての注意事項は、[添付資料] 4ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。
2. 調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益です。調整後営業利益は、セグメント利益と一致しており、当社グループの業績管理指標として用いているため、開示しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	4
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	4
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	5
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	5
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	7
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	9
(4) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(会計方針の変更)	10
(セグメント情報)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日、以下「当第2四半期」）における医療市場では、各国で医療費抑制が進められる中、依然として先進国を中心に、財源の重点的・効率的な配分に向けて医療経済性へのニーズが高まっています。

このような環境の下、当社グループでは、「日本発のグローバル企業」として、トータルクオリティ（製品・供給・サービスなどを含めたトータルな質）においてワールドクラスの信頼を獲得し、世界の医療現場からトップブランドとして信頼されるメーカーとなることを中長期ビジョンとして掲げ、経営を推進しております。

当第2四半期の業績は以下のとおりです。

(単位：百万円)

	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
売上収益	284,997	307,278	7.8	10.8
売上総利益	154,588	171,463	10.9	14.2
調整後営業利益	55,296	67,044	21.2	27.1
営業利益	47,582	59,150	24.3	28.9
税引前四半期利益	44,527	58,065	30.4	—
四半期利益	34,389	45,621	32.7	—
親会社の所有者に帰属する四半期利益	34,454	45,711	32.7	—

(単位：百万円)

地域別売上収益	前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
日本	91,076	95,921	5.3	5.3
欧州	56,237	58,271	3.6	10.2
米州	84,300	92,623	9.9	12.5
アジア他	53,382	60,461	13.3	18.4
海外計	193,921	211,356	9.0	13.4
合計	284,997	307,278	7.8	10.8

<売上収益>

売上収益は、前年同期比7.8%増の3,073億円となりました。

日本では、心臓血管カンパニーのTIS（カテーテル）事業や血管事業、ホスピタルカンパニーの外科領域、製薬企業との提携ビジネスであるアライアンス事業が好調に推移し、増収となりました。

海外では、心臓血管カンパニーのTIS（カテーテル）事業やニューロバスキュラー事業、ホスピタルカンパニーのアライアンス事業が好調に推移し、増収となりました。

<売上総利益>

売上総利益は、売上収益の増加に加え、高収益品の販売増やコスト改善等により、前年同期比10.9%増の1,715億円となりました。

<調整後営業利益>

調整後営業利益は、売上総利益の増加に加え、販売費及び一般管理費について一部が遅めの進捗となり、前年同期比21.2%増の670億円となりました。

なお、調整後営業利益は、営業利益から買収に伴い取得した無形資産の償却費及び一時的な損益を調整した利益です。また、調整後営業利益は、セグメント利益と一致しており、当社グループの業績管理指標として用いています。

<営業利益>

営業利益は、調整後営業利益の増加により、前年同期比24.3%増の592億円となりました。

<税引前四半期利益>

税引前四半期利益は、為替差損の計上額が、前年同期28億円に対し、当第2四半期は11億円に縮小し、前年同期比30.4%増の581億円となりました。

<親会社の所有者に帰属する四半期利益>

親会社の所有者に帰属する四半期利益は、税引前四半期利益の増加により、前年同期比32.7%増の457億円となりました。

報告セグメント別の売上収益の状況は以下のとおりです。

(単位：百万円)

報告セグメントの名称		前第2四半期 連結累計期間	当第2四半期 連結累計期間	伸長率 (%)	為替影響除く 伸長率 (%)
心臓血管カンパニー	売上収益	153,464	172,597	12.5	16.4
	(日本)	22,326	24,752	10.9	10.9
	(海外)	131,137	147,844	12.7	17.3
ホスピタルカンパニー	売上収益	81,228	82,815	2.0	2.7
	(日本)	62,834	64,981	3.4	3.4
	(海外)	18,394	17,833	△3.0	0.1
血液システムカンパニー	売上収益	50,173	51,756	3.2	7.3
	(日本)	5,806	6,077	4.7	4.7
	(海外)	44,366	45,678	3.0	7.6

<心臓血管カンパニー>

日本では、血管事業で直販を開始したステントグラフト、海外では、ニューロバスキュラー事業の袋状脳動脈瘤デバイス「ウェブ」(WEB)などが牽引、またグローバルでTIS(カテーテル)事業が好調に推移した結果、心臓血管カンパニーの売上収益は前年同期比12.5%増の1,726億円となりました。

<ホスピタルカンパニー>

ホスピタルシステム事業の輸液ポンプやシリンジポンプ、スプレー式癒着防止材「アドスプレー」、解熱鎮痛剤「アセリオ」などが好調に推移したほか、アライアンス事業の製薬企業との提携ビジネスが拡大した結果、ホスピタルカンパニーの売上収益は前年同期比2.0%増の828億円となりました。

<血液システムカンパニー>

日本では、血液センター向け製品の販売が堅調に推移し、増収となりました。海外では、血液センター向け製品が米国において堅調、新興国においては入札を獲得するなど好調に推移した結果、血液システムカンパニーの売上収益は前年同期比3.2%増の518億円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

資産合計は、276億円増加して11,484億円となりました。これは主に、配当金の支払い等により現金及び現金同等物が56億円減少、前期末から為替相場が米ドルに対して円高に推移した影響等によりの前払金及び無形資産が109億円減少したものの、テルモ山口株式会社の新棟建設や、増産等の設備投資に加え、IFRS第16号「リース」が適用されたこと等により有形固定資産が402億円増加したことによるものです。

負債合計は、70億円増加して4,296億円となりました。これは主に、転換社債型新株予約権付社債の転換により社債及び借入金が増加した一方で、上記IFRS第16号が適用されたこと等によりその他の金融負債が312億円増加したことによるものです。

資本合計は、207億円増加して7,188億円となりました。これは主に、利益剰余金が増加し、上記転換社債の転換に自己株式を充当したことにより資本合計が104億円増加した一方で、為替相場が円高に推移した影響により在外営業活動体の換算差額が減少しその他の資本の構成要素が250億円減少したことによるものです。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2019年5月9日に発表した連結業績予想に変更はありません。医療機器・医薬品業界を取り巻く環境の変化や為替レートの動向など、事業環境は不透明な状況が続くことが予想されますが、当社グループは目標の達成に向けて、医療の質と効率の向上に貢献する高付加価値製品の開発及び販売拡大、継続的な原価改善、販売費及び一般管理費の効果的な運用などに注力してまいります。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	122,982	117,405
営業債権及びその他の債権	128,462	122,501
その他の金融資産	1,744	1,248
棚卸資産	134,106	142,084
その他の流動資産	11,426	11,274
流動資産合計	398,722	394,513
非流動資産		
有形固定資産	201,986	242,213
のれん及び無形資産	468,885	458,032
持分法で会計処理されている投資	5,571	6,090
その他の金融資産	17,131	18,387
繰延税金資産	24,624	24,622
その他の非流動資産	3,868	4,557
非流動資産合計	722,068	753,903
資産合計	1,120,790	1,148,417

（単位：百万円）

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (2019年9月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
営業債務及びその他の債務	81,476	77,238
社債及び借入金	—	10,000
その他の金融負債	741	5,803
未払法人所得税等	10,199	10,840
引当金	236	236
その他の流動負債	50,258	46,646
流動負債合計	142,912	150,764
非流動負債		
社債及び借入金	225,135	202,382
その他の金融負債	6,607	32,721
繰延税金負債	24,302	23,274
退職給付に係る負債	12,823	10,808
引当金	88	86
その他の非流動負債	10,807	9,591
非流動負債合計	279,764	278,864
負債合計	422,677	429,629
資本		
資本金	38,716	38,716
資本剰余金	52,029	51,803
自己株式	△32,381	△21,607
利益剰余金	646,223	681,358
その他の資本の構成要素	△6,553	△31,527
親会社の所有者に帰属する持分合計	698,034	718,741
非支配持分	78	46
資本合計	698,113	718,788
負債及び資本合計	1,120,790	1,148,417

（2）要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書

（要約四半期連結損益計算書）

（単位：百万円）

	前第2四半期連結累計期間 （自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）	当第2四半期連結累計期間 （自 2019年4月1日 至 2019年9月30日）
売上収益	284,997	307,278
売上原価	130,409	135,815
売上総利益	154,588	171,463
販売費及び一般管理費	110,717	113,944
その他の収益	5,482	3,094
その他の費用	1,771	1,462
営業利益	47,582	59,150
金融収益	1,008	915
金融費用	4,005	1,909
持分法による投資損益（△は損失）	△57	△92
税引前四半期利益	44,527	58,065
法人所得税費用	10,137	12,443
四半期利益	34,389	45,621
四半期利益の帰属		
親会社の所有者	34,454	45,711
非支配持分	△64	△89
四半期利益	34,389	45,621
1株当たり四半期利益		
基本的1株当たり四半期利益（円）	47.82	61.44
希薄化後1株当たり四半期利益（円）	45.45	60.42

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位:百万円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)
四半期利益	34,389	45,621
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で 測定する金融資産	169	△292
確定給付制度の再測定	—	△450
純損益に振り替えられることのない項目 合計	169	△742
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	37,497	△24,509
キャッシュ・フロー・ヘッジ	271	△80
ヘッジコスト	△10	△65
純損益に振り替えられる可能性のある項目 合計	37,758	△24,655
その他の包括利益	37,927	△25,397
四半期包括利益	72,317	20,224
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	72,382	20,310
非支配持分	△65	△85
四半期包括利益	72,317	20,224

(注) 上記の計算書の項目は、税引後で開示しております。

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第2四半期連結累計期間(自 2018年4月1日 至 2018年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素			
2018年4月1日時点の残高	38,716	52,445	△101,546	588,932	△28,240	550,307	128	550,435
会計方針の変更	-	-	-	54	-	54	-	54
修正再表示後の残高	38,716	52,445	△101,546	588,986	△28,240	550,361	128	550,490
四半期利益	-	-	-	34,454	-	34,454	△64	34,389
その他の包括利益	-	-	-	-	37,928	37,928	△0	37,927
四半期包括利益合計	-	-	-	34,454	37,928	72,382	△65	72,317
自己株式の取得	-	-	△3	-	-	△3	-	△3
自己株式の処分	-	-	131	△42	△88	0	-	0
剰余金の配当	-	-	-	△9,549	-	△9,549	-	△9,549
子会社の増資に伴う持分の変動	-	-	-	-	-	-	81	81
株式報酬取引	-	-	-	-	108	108	-	108
転換社債型新株予約権付社債 の転換	-	△397	65,681	△645	-	64,637	-	64,637
所有者との取引額合計	-	△397	65,809	△10,238	19	55,192	81	55,273
2018年9月30日時点の残高	38,716	52,047	△35,737	613,202	9,707	677,936	144	678,081

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	親会社の所有者に帰属する持分					合計	非支配持分	合計
	資本金	資本 剰余金	自己株式	利益 剰余金	その他の 資本の 構成要素			
2019年4月1日時点の残高	38,716	52,029	△32,381	646,223	△6,553	698,034	78	698,113
四半期利益	-	-	-	45,711	-	45,711	△89	45,621
その他の包括利益	-	-	-	-	△25,401	△25,401	3	△25,397
四半期包括利益合計	-	-	-	45,711	△25,401	20,310	△85	20,224
自己株式の取得	-	-	△1	-	-	△1	-	△1
自己株式の処分	-	-	65	△20	△44	0	-	0
剰余金の配当	-	-	-	△10,029	-	△10,029	-	△10,029
その他の資本の構成要素から利益剰 余金への振替	-	-	-	△450	450	-	-	-
子会社の増資に伴う持分の変動	-	-	-	-	-	-	53	53
株式報酬取引	-	△152	120	82	20	71	-	71
転換社債型新株予約権付社債 の転換	-	△73	10,589	△159	-	10,356	-	10,356
所有者との取引額合計	-	△226	10,774	△10,577	426	397	53	450
2019年9月30日時点の残高	38,716	51,803	△21,607	681,358	△31,527	718,741	46	718,788

（4）要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（会計方針の変更）

当社グループが本要約四半期連結財務諸表において適用する重要な会計方針は、以下を除き前連結会計年度に係る連結財務諸表において適用した重要な会計方針と同一です。

当社グループは、第1四半期連結会計期間の期首よりIFRS第16号「リース」（2016年1月公表）（以下、「IFRS第16号」）を適用しております。

（1）会計方針の変更

IFRS第16号では、借手のリースについて、ファイナンス・リースとオペレーティング・リースに分類せず、単一の会計モデルを導入し、短期リース又は少額資産リースになる場合を除き、原則としてすべてのリースについて、原資産を使用する権利を表す使用権資産とリース料を支払う義務を表すリース負債を認識することになります。

IFRS第16号の適用に伴い、当社グループは、借手としてのリース取引について、リース開始日に、使用権資産を取得原価で、リース負債を未払リース料総額の現在価値として測定しております。使用権資産の取得原価は、リース負債の当初測定額に当初直接コスト、前払リース料等を調整して当初測定しております。要約四半期連結財政状態計算書において、使用権資産を「有形固定資産」に、リース負債を「その他の金融負債」に含めて表示しております。使用権資産とリース負債を認識した後は、使用権資産の減価償却費及びリース負債に係る金利費用が計上されます。

当社グループは、使用権資産のリース期間は、リースの解約不能期間に、リースを延長するオプションを行使すること又はリースを解約するオプションを行使しないことが合理的に確実な期間を加えて見積っております。また、当該使用権資産に係るリース負債に適用している割引率は、借手の追加借入利率を使用しております。使用権資産は、耐用年数とリース期間のいずれか短い年数にわたって、定額法で減価償却を行っております。

（2）要約四半期連結財務諸表への影響

IFRS第16号の適用にあたっては、経過措置として認められている、本基準の適用による累積的影響を適用開始日に認識する方法を採用しております。また、IFRS第16号への移行に際し、契約にリースが含まれているか否かについては、IFRS第16号C3項の実務上の便法を選択し、従来基準のIAS第17号及びIFRIC第4号「契約にリースが含まれているか否かの判断」のもとでの判断を引き継いでおります。なお、短期リース及び少額資産のリースについては、認識の免除規定を適用しております。これにより、比較情報の修正再表示は行わず、2019年4月1日の要約四半期連結財政状態計算書において、使用権資産等29,391百万円及びリース負債29,391百万円を計上しております。これは主にIFRS第16号の適用に際し、IAS第17号においてオペレーティング・リースに区分していたリース料を資産及び負債として計上したことによる影響です。なお、リース負債を認識する際に、リース負債と同額（ただし、前払リース料又は未払リース料は修正）の使用権資産を認識しているため、期首利益剰余金への影響はありません。

適用開始日現在のリース負債に適用した追加借入利率の加重平均は1.54%です。

適用開始日の直前年度の末日現在におけるオペレーティング・リースの将来最低リース料総額と適用開始日現在における要約四半期連結財政状態計算書に認識したリース負債の差額は以下のとおりです。

オペレーティング・リースコミットメント（2019年3月31日）	31,402 百万円
2019年4月1日における加重平均追加借入利率	1.54%
割引後のオペレーティング・リースコミットメント（2019年4月1日）	29,587 百万円
ファイナンス・リースに分類されていたリースのコミットメント	900 百万円
リース負債を認識しない短期リース及び少額リース等	△195 百万円
適用開始日における要約四半期連結財政状態計算書に認識したリース負債	30,292 百万円

（セグメント情報）

（1）報告セグメントに関する基礎

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものです。

当社グループは、製品群別に分類された社内カンパニー制を採用しており、各社内カンパニー本部は、取り扱う製品について国内及び海外の包括的な戦略を立案し、事業活動を展開しております。

したがって、当社は、社内カンパニー制を基礎とした製品群別のセグメントから構成された「心臓血管カンパニー」、「ホスピタルカンパニー」及び「血液システムカンパニー」の3つを報告セグメントとしております。

（2）報告セグメントに関する情報

当社グループの報告セグメントによる収益及び業績は以下のとおりです。

前第2四半期連結累計期間（自 2018年4月1日 至 2018年9月30日）

（単位：百万円）

	報告セグメント				調整額 (注) 1	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー	合計		
売上収益						
外部顧客への売上収益	153,464	81,228	50,173	284,866	131	284,997
セグメント利益 (調整後営業利益)	34,472	13,754	6,988	55,215	80	55,296
(調整項目)						
買収無形資産の償却費	△3,197	—	△4,163	△7,361	△124	△7,485
一時的な損益(注) 2						△228
営業利益						47,582
金融収益						1,008
金融費用						△4,005
持分法による投資損益						△57
税引前四半期利益						44,527

（注）1. 調整額は以下のとおりです。

- 外部顧客への売上収益の調整額131百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
 - セグメント利益の調整額80百万円には、棚卸資産の調整額△162百万円、その他243百万円が含まれております。
2. 一時的な損益△228百万円には、昨年度のプエルトリコにおけるハリケーン被害に関する保険金収入1,102百万円、米国シークエントメディカル, Inc. の株式取得に伴う条件付対価の公正価値変動△1,734百万円等が含まれております。

当第2四半期連結累計期間(自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)

(単位:百万円)

	報告セグメント				調整額 (注) 1	要約四半期 連結財務諸表 計上額
	心臓血管 カンパニー	ホスピタル カンパニー	血液システム カンパニー	合計		
売上収益						
外部顧客への売上収益	172,597	82,815	51,756	307,168	110	307,278
セグメント利益 (調整後営業利益)	47,177	12,592	6,686	66,457	587	67,044
(調整項目)						
買収無形資産の償却費	△3,518	—	△4,100	△7,618	△228	△7,847
一時的な損益(注) 2						△47
営業利益						59,150
金融収益						915
金融費用						△1,909
持分法による投資損益						△92
税引前四半期利益						58,065

(注) 1. 調整額は以下のとおりです。

- 1) 外部顧客への売上収益の調整額110百万円は、報告セグメントに帰属しない外部向け人材派遣による収入等です。
- 2) セグメント利益の調整額587百万円には、棚卸資産の調整額202百万円、その他385百万円が含まれております。
2. 一時的な損益△47百万円には、一昨年度のプエルトリコにおけるハリケーン被害に関する保険金収入1,167百万円、事業再編費用△894百万円等が含まれております。